

高畠高生の活躍

高畠町海外派遣研修事業で、友好都市のオーストラリア・シングルトンを訪れた中高生の記事が新聞に掲載されました。

その中で、研修に参加した本校3年の佐藤漣君のコメントが紹介されています。

自信と経験を胸に 中高生10人 豪から帰国

高畠 高畠町の海外派遣研修事業で友好都市のオーストラリア・シングルトンを訪れた中高生の帰町式が9日、同町のJ.R高畠駅で行われ、生徒たちが海外で得た経験を今後に生かしていくことを誓った。

国際的な視野を持つ若者の育成を目的に、町は1996年からシングルトンに中高生を派遣している。新型コロナウイルス禍で4年ぶりの派遣となった今回、高畠中3年生と高畠高1、2年生の計10人が参加した。今月2～8日の間、ホームステイしながら現地のハイスクールで学んだ。

帰町式には出迎えに来た保護者らが参加した。中学

生を代表して大浦玖紀さん(14)が「コミュニケーションの面で成長を実感し、すごく自信が付いた」、高校生代表の高畠高3年佐藤漣さん(18)が「ジェスチャーや単語を使って会話をするうちに、交流が楽しくなった」と成果を語った。

(菊地健介)

オーストラリアでの研修事業を終え、帰町した中高生ら
|| 高畠町・J.R高畠駅



令和5年8月17日(木)「山形新聞」から